

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立屋島西小学校
校長名 坂賀 俊之

公印
省略

令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立屋島西小学校
派遣内容	高松市防災教育講師派遣事業
日時	令和 7年 9月 22日 (月) 13:30 ~ 14:15
場所	集会室
対象者 参加人数	児童数 40名 クラス数 2クラス 教職員 2名 その他 名
内容・日程等	地震・津波発生の仕組み、発生時の対応など 1時間程度
取組における成果	<p>◎地震・津波発生の仕組み 内容は少し難しかったが、分かりやすい図や映像で説明して頂けたことで、よく理解していた。これまでの地震についての学習では詳しく触れられなかったプレートについての話もしていただいたので、児童の理解はさらに深まったと感じる。児童は、地震が1日に700回も起きていることや、いつ大きな地震が起きてもおかしくないということを知り驚いていた。また、津波の速さを知り、津波が来てから逃げるのでは逃げ切れないことに気付き、早く避難しなければ命が危ないとつぶやいていた。</p> <p>◎発生時の対応など 非常時のバックの中身を見せながら説明してもらえた。バックの中身は大体知っていたが、よく分かったので、もう一度確認したいと思ったようだ。また家に帰って、家族と防災の準備を見直したいと考えていた。簡易トイレの使い方も実演して頂き、実際に見たことで印象に強く残ったのではないかと。防災に関する道具についての理解も深まった。</p>
今後の課題	<p>現在、総合的な学習の時間で、防災についての学習を進めている。地震や津波発生の仕組みについては、今回の事業でよく理解できた。今後は、発生時の対応について、非常時バックなどの道具についての理解を深めるだけでなく、いざ地震や津波が発生したときに、自分の命を守るための行動を、自宅にいる場合や学校にいる場合など、様々な状況に分けて考えていきたい。</p>





ワークシート

じゆきよう

ぼうさい授業

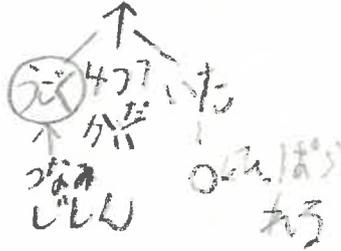
ししん つなみへん
～地震・津波編～

なまえ
名前

さいがい たいだ ちしき ひころ そな
災害がおこったときは、ひとりひとりの正しい知識や日頃の備えがとても大切です。
きょう じゆきよう おほ かんが かぞく せんせい じしん そな やくだ
今日の授業で覚えたことや考えたことをメモして、家族や先生と地震に備えるときに役立ててください。

メモ おおきく2コプレートかんたんろう

うみの中



今日学んだこと

日本ではあんまり地震がおこらないとおもっていたけれど、日本では毎日700回くらい地震がくるといわれてびっくりした。今は、じしんのときにすなえ、持ち物とかかんがえたこともなかったから、いつどこでおこるかわからない地震にすなえてじしんがきたときどこにしゃうこうするかとかをかんがえようとおもった。





さいがい

災害がおこったときは、ひとりひとりの正しい知識や日頃の備えがとても大切です。

きょう じゆぎょう おぼ

かんが

かぞく

せんせい じしん そな

やくだ

今日の授業で覚えたことや考えたことをメモして、家族や先生と地震に備えるときに役立ててください。

メモ

地しん 1日700回

海がわのプレートがくがわのプレートにぶつかる
たら津波が起こる。

上の中の方が津波は速い

津波の力は強い

津波は1日で地球の半対までいく

今日学んだこと

津波が起こると船が道路に乗り上げてきたり
家がつぶれたり水びたしになったりして
まうので、津波がくる前にひなんのじゅんぴを
して、すぐに動けるようにしておくことが大事だと
うことが分かった

